

## ペットボトル詰め飲料水「うつつのみや泉水」の活用状況について（報告）

## 1 「うつつのみや泉水」の概要

宇都宮市の水道水は、昭和60年に旧厚生省「おいしい水研究会」の「水道水のおいしい都市32市」の1つに選ばれている。この安全でおいしい水道水のPRを行うため、水道水を詰めた500mlペットボトル「うつつのみや泉水」（以下「泉水」という。）の製造を平成12年度に開始し、各種イベント等において配布を行っている。また、より多くの方に宇都宮の水道水をPRし、水道事業に関心を高めただけでなく契機とするため、市職員生協ほか市関連施設での販売を行っている。

また、平成17年度から災害直後の飲料水としての利用を目的とし、900mlペットボトル12本と給水袋をセットにした災害対策用ペットボトルの販売を行っている。

## 【参考】

- (1) 名 称 うつつのみや泉水
- (2) 作製目的 安全でおいしい水道水のPRを行うため等
- (3) 内 容 物 水道水（平成12～17年度：白沢浄水場、平成18年度：今市浄水場）  
※水道水を85℃で約30分煮沸してボトル詰め
- (4) 賞味期限 2年間

## 2 活用状況

## (1) イベントにおける活用

水道週間などのイベント開催時に、水道水の利き水などを実施するとともに、アンケート調査の協力者等に泉水を配布している。

- ・ 配布本数 2,595本（平成18年度）
- ・ 配布場所 フェスタ my 宇都宮、ちびっ子フェスタ、  
水道週間（よ一元気まつり・松田新田浄水場1日開放）、  
食育フェア、消費生活展、下水道の日フェスティバル、  
探検ツアー等

## (2) 販売状況

- ・ 500mlペットボトルについては、平成15年度に市職員生協で販売を開始し、平成18年度にはろまんちっく村、県産品センター（JR宇都宮駅）に販路を拡大し、平成19年度からは梵天の湯（上河内地区）での販売を開始した。また、市職員生協を通じて、市の各種イベント・会議で活用されている。  
※ 販売本数（平成18年度）・・・10,118本
- ・ 900ml災害対策用ペットボトルについては、平成17年度から窓口及び配送（業者）による販売を開始した。  
※ 販売本数（平成18年度）・・・148箱（1,776本）

## 3 今後の活用

- ・ 災害直後の備えとして、3日分（1人1日30）の水を家庭で自足できるよう、災害対策用ペットボトルの活用について、市民へのPRを強化する。また、災害対策の一環として、地区市民センターや社会福祉施設などに備蓄するよう働きかけていく。
- ・ 今後の需要や動向を踏まえ、市職員生協の管理する自動販売機での販売など、さらに泉水の活用を検討していく。